

日本財団×瀬戸内4県 連携包括的海洋ごみ対策プロジェクト！

瀬戸内海を囲む4県同時一斉清掃実施のご案内

日時：令和7年7月5日（土）9：40～11：40 場所：江田島市 ^{あらじろ}荒代海岸

瀬戸内地域で海洋ごみ対策に取り組む公益財団法人日本財団は、瀬戸内4県（広島県、岡山県、香川県、愛媛県）が連携して展開している包括的海洋ごみ対策プロジェクト「瀬戸内オーシャンズX」の一環として、**同日・同時時間帯での合同清掃イベント「瀬戸内4県 一斉清掃大作戦！」**を実施します。

つきましては、万障繰り合わせの上、ぜひご取材下さいますようお願い申し上げます。

■開催概要

日 時	令和7年7月5日（土）9：40 ～ 11：40（9：00～受付開始） ※ 9：20～事前記者レク
場 所	【受付・清掃場所】 江田島市 荒代海岸（江田島市江田島町津久茂） ※詳細は下図のとおり。報道関係者用駐車場の詳細は別途ご案内いたします。
出席者	・ 広島県知事 ^{ゆざき} 湯崎 ^{ひでひこ} 英彦 ・ 江田島市長 ^{どて} 土手 ^{さんせい} 三生 氏 ・ 広島県漁業協同組合連合会 代表理事会長 ^{よねだ} 米田 ^{てるたか} 輝隆 氏 外
内 容	・ 開会式（中継による4県知事のリレー挨拶、出陣の号令） ・ 清掃活動（知事を含めた参加者による海岸清掃、回収量の集計発表） ・ 質疑応答（湯崎知事等）、集合写真の撮影

※その他、詳細情報については、別紙の日本財団リリースによりご確認ください。

■開催場所



出典：国土地理院

<取材に際しての留意事項>

- **取材される場合は、別紙の日本財団リリースにより、事前申込をお願いします。**

瀬戸内海を囲む4県知事が参加 1000人規模の一斉清掃 立入困難エリアでは上陸用舟艇や特殊車両・重機活用も

日時: 2025年7月5日(土) 10:00~合同開会式、清掃終了時間は会場で異なります

場所: 香川県丸亀港(メイン会場) および岡山県・広島県・愛媛県の各会場

日本財団(東京都港区、会長 尾形 武寿)はこの度、瀬戸内4県(岡山県・広島県・香川県・愛媛県)が連携して展開している包括的海洋ごみ対策プロジェクト「瀬戸内オーシャンズX」の一環として、4県で実施してきた実証事業での成果等をもとに、同日・同時時間帯での合同清掃イベント「瀬戸内4県 一斉清掃大作戦!」を実施します。

各県の知事をはじめ、漁業や企業関係者、中高生、市民ボランティア等、4会場で計約1,000人が参加を予定している本イベントでは、離島や半島の海岸・河口部等、地形や気候の影響で県内でも特にごみが溜まりやすく回収が困難な場所で、上陸用舟艇(民間フェリー)や特殊車両、重機等も使いながら、1日で計約5トンのごみを回収する予定です。清掃前には、各県ごとに設けられた会場を中継でつないで開会式を開催し、知事から意気込みを表明いただくほか、メイン会場となる香川県丸亀港には、当財団の名誉会長も参加予定です。

■取材申込: ご取材をいただける場合には、乗船準備や事前連絡の都合上、

以下URL、または、QRコードから

2025年7月3日(木) 17:00までにお申し込みください。

【URL】 <https://forms.gle/r32i78VXixi6csb36>



<参考: これまでに実施した実証事業>



岡山県岡山市笹ヶ瀬川河口部: 2022年3月



広島県大竹市阿多田島 長浦海岸: 2022年11月



愛媛県宇和島市蔭淵 漁港荷上場、小池浜: 2022年7月



香川県宇多津町 大東川: 2023年6月

【「瀬戸内4県 一斉清掃大作戦！」全体概要】(予定)

*4県全体に係る共通事項を記載しています。会場ごとのご案内は、別紙2を参照ください

■日時 2025年7月5日(土) 10:00～開会式・清掃活動 ※荒天中止

■場所

	開会式	清掃場所
香川(メイン会場)	丸亀港(丸亀市)	手島(丸亀市)
岡山	旭川河川敷(岡山市)	同左
広島	荒代海岸(江田島市)	同左
愛媛	三机港(伊方町)	御所ヶ浜



■スケジュール

(事前記者レク時間・別紙②参照 *各会場で当日の流れを説明)

10:00～ 合同開会式 *4会場をオンラインでつないで実施

・関係者挨拶

香川県知事 池田 豊人(いけだ とよひと)、岡山県知事 伊原木 隆太(いばらぎ りゅうた)

広島県知事 湯崎 英彦(ゆざき ひでひこ)、愛媛県知事 中村 時広(なかむら としひろ)

日本財団 名誉会長 笹川 陽平(ささかわ ようへい)

・出発の号令

10:30～ 清掃現場へ移動 → 到着し次第、清掃開始(約30分) → 囲み → 集合写真

正午前後で終了し次第、適宜解散

■参加予定者

漁業・地元企業関係者、市民団体、中高生、ボートレース選手、自治体職員ほか

■連絡事項

- 前日7月4日(金) 16時頃、取材申込社に当日資料(事前レクでも使用)を送付予定です。
なお、荒天時には一部プログラム変更、または全体中止となる場合もございます。
⇒この場合にも7月4日(金) 16時に判断し、順次、申込社に状況をご連絡します。
- 船舶で向かう清掃場所については、上陸時や清掃の様子を撮影していただけるよう、報道関係の皆様には先行上陸していただく予定です。ただし、乗船定員の都合上、人数を制限させていただく場合がございます。あらかじめご承知おきください。

■日本財団「瀬戸内オーシャンズX」について <https://setouchi-oceansx.jp/>

瀬戸内海に面する4県(岡山県、広島県、香川県、愛媛県)と日本財団が2020年12月に連携協定を締結し、共同で推進している包括的海洋ごみ対策プロジェクトです。外海からの海洋ごみ流入が少ない海域(閉鎖性海域)である瀬戸内海で、①調査研究②企業・地域連携③啓発・教育・行動④政策形成の4つの柱で事業を実施し、得られた成果を瀬戸内モデルとして世界に発信します。

プロジェクトの一環としてこれまで、離島や半島の先端部、河口や河岸等、人の立ち入りが難しい場所に散乱するごみの効率的な回収・処理方法を策定するための実証事業を実施。2024年4月に初開催した4県の知事と当財団代表によるトップ会合では、4県合同での大規模清掃(今回の試み)を2025年夏に実施することで合意しました。4県では年間約388トンのごみが発生※し、うち約302トンが公的機関等で回収されていることから、本プロジェクトでは2028年3月までに、年間86トンのごみを継続的に回収する仕組みを構築することで、瀬戸内海におけるごみを減少に転じさせることを目指しています。 ※沿岸域学会誌(2023年)

■日本財団について <https://www.nippon-foundation.or.jp/>

痛みも、希望も、未来も、共に。日本財団は1962年、日本最大規模の財団として創立以来、人種・国境を越えて、子ども・障害者・災害・海洋・人道支援など、幅広い分野の活動をボートレースの売上金からの交付金を財源として推進しています。



<問合せ先> 日本財団経営企画広報部 宇田川 080-4131-9893 E-mail: pr@ps.nippon-foundation.or.jp

<当日問合せ先> 香川会場: 宇田川 080-4131-9893 / 岡山会場: 西井 080-9087-9892

広島会場: 桔梗 080-4654-6492 / 愛媛会場: 滝澤 070-3892-6732

【会場ごとのタイムスケジュール等一覧】＊配信日現在、報道関係者向け

	香川県	岡山県	広島県	愛媛県
報道関係用駐車場	丸亀市宮福島駐車場 (丸亀市西平山町220) ＊会場まで徒歩5分	旭川河川敷(岡山市中区平井6-4) ＊会場まで徒歩すぐ	江田島市荒代地区残土処分場(江田島市江田島町津久茂) ＊会場まで徒歩5分	伊方町役場 瀬戸支所 (西宇和郡伊方町三机乙3003-6) ＊会場まで徒歩すぐ
記者レク ＊場所は開会式会場の ステージ付近	9:20～	9:20～	9:20～	9:10～
10:00-10:30 開会式会場	丸亀港(丸亀市)	旭川河川敷(岡山市)	荒代海岸(江田島市)	三机港(伊方町)
清掃場所への移動手段 (所要時間)	徒歩・待機(20分) + 船(45分)	徒歩すぐ	徒歩すぐ	徒歩・待機(15分) + 船(10分)
清掃スタート時間 清掃場所	11:30～ 手島(丸亀市)	10:45～ 旭川河川敷	10:40～ 荒代海岸	10:55～ 御所ヶ浜(伊方町)
囲みインタビュー ＊清掃終了10分前	知事 笹川(財団名誉会長)	知事	知事	知事・海野(財団常務)
清掃終了時間	12:20 (丸亀港へ帰港13:30)	11:15	11:10	11:40 (三机港へ帰港12:20)
取材に際しての連絡・ 注意事項等	乗船定員の都合上、人数制限する場合あり ※事前連絡します	特になし	特になし	乗船定員の都合上、人数制限する場合あり ※事前連絡します
清掃活動・場所の特徴	香川県沖に点在する島には、季節風や潮位の影響で都市部などから流出したごみが漂着しやすい海岸があります。丸亀市・手島に集まる、生活ごみ、漁業関連ごみなど、島しょ部ならではの回収が見込まれるため、フェリーでバッカー車(2台を予定)を島に輸送して配置し、回収したごみを直接積み込みます。 	岡山市内には大川や網の目状に走る水路があり、これらを伝って生活ごみなどが海に流れ込む可能性があります。旭川の河川敷で清掃を行い、日常的なごみ流出防止への意識定着を目指します。 	カキ養殖が盛んな広島湾には、養殖いかだに取り付ける発泡スチロール製フロートや、カキとカキの間に設置するプラスチック製パイプなどが漂着する海岸が数多くあります。江田島市の海岸で、県内の漁業関係者と企業・団体、市民が連携した清掃活動を展開します。 	佐田岬半島北側の海岸には、生活ごみや漁業関連のごみが大量に漂着し、季節風で吹き上げられることによって、海岸の砂と混ざり堆積する場所があります。当日は上陸船で輸送したふるい機能付き重機で、大量のごみと砂を選別し、プラスチックごみを効率的に回収します。相当量の回収が見込まれるため、回収したごみの移動に、上陸船で輸送したクレーンやフォークリフトも使用します。  